



マウントフェーバー「Sapphire」のカウンターで

Bevelyn Khoo

ビブリン・コー

何て頭のいい人なんだろう…それが私のビブリンへの第一印象だ。つたない私の英語でのインタビュにも誠意を持って1つ1つ真剣に答えられていくのがわかる。しかも時にはユーモアを交え、時には歌うようにテンポよく話す彼女。人を惹きつける魅力がある。「天性のアーティストですね」と同席した編集・吉田が言った。横でフォトグラファターの柳が頷いていた。本書の表紙カバーにも登場してくれているビブリン。

炎天下、長時間かけての撮影にも嫌な顔一つせず最後まで付き合ってくれた彼女に「プロ根性を感じた。」
ビブリン・コー（BEVELYN KHOO）はシンガポールで人気急上昇中のシンガーソングライター。1979年2月生まれの30歳である。「音楽との出会いは4歳。その頃からテレビの音楽番組を見ながら一緒に歌ってたわ」というビブリン。5歳の時、叔父宅のオルガンに興味を持ちレッスンを開始。2年後、ビ

ブリンに切り替えて3年間習ったという。「でもやっぱり、一番好きなのは歌うこと。それは今でも変わらないの」と笑顔で言った。「シンガーソングライターになった理由？それは歌うと自分が楽しいから。自分が楽しむ事が一番大事よ」と質問にもきっぱりと答えるビブリン。どうやら彼女に迷いという言葉は無いようだ。好きなアーティストはマライヤ・キャリーという彼女に曲作りについて聞いてみた。「曲を作る時は、まずストーリーが大切。何を伝えたいか考えて、ストーリーを組み立てるの。そうすると自然とメロディーが浮かんでくるのよ。歌詞は最後につける事が多いかな」と語ってくれた。

2008年1月、EPアルバム『Lonely Afternoon』をリリース。シンガポールで空前の視聴率を記録したTVドラマ『Little Nyonya』（リトル・ニョニヤ）のエンディングテーマを担当し注目を集める。11月には、日本のレーベル「S2S」と契約し、現在フルアルバムを製作中だ。2009年4月にはシンガポールをはじめ、アジア各国でリリースが決定した。「アルバムメインはクラシックソング。英語、中国語、スペイン語でも歌っているのよ。全12曲中、2曲はオリジナル曲を収録する予定。日本の皆さんに向けて、上海ラウンジ・ヒューチャリング・ビブリン・コー名義でラウンジ系のサウンドをお届けしたいと思っているわ」と活き活きとした表情で話してくれたビブリン。シンガポールを中心にアジアいや世界各国で彼女の曲を耳にする日もそう遠くないはずだ。★



You Are My Angel
2009年4月にリリースされた2枚組アルバム。英語、中国語で、ビブリンの歌声を楽しめる

Singapore Artists Special Interview

音楽はストーリーが大切 歌っている自分が楽しまなきゃ

大ヒットTVドラマのエンディングテーマを歌い、シンガポールで一躍人気歌手となった彼女。歌うように話す天性のアーティストは、まもなく日本での音楽活動も開始する。

